



各 位

平成 27 年 2 月 27 日

会 社 名 三菱自動車工業株式会社
代表者名 取締役社長 相 川 哲 郎
コード番号 7211 東証第 1 部
問合せ先 常務執行役員 経営企画本部長
黒井義博
(T e l . 0 3 - 6 8 5 2 - 4 2 0 6)

インドネシアにおける生産体制の再構築に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 2 月 27 日開催の取締役会において、三菱自動車工業株式会社、三菱商事株式会社は、現地パートナーである PT Krama Yudha とともに、新生産合弁会社であるミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシアを設立し、ジャカルタ市の東 37 km に位置する GIIC 工業団地に新工場を建設することを決議しましたので、添付プレスリリースのとおりお知らせいたします。

以上

インドネシアにおける生産体制を再構築 ～2017年に完成車組立工場を新設～

三菱自動車工業株式会社(東京都港区, 会長兼 CEO 益子 修, 以下三菱自動車)、三菱商事株式会社(東京都千代田区, 社長 小林 健, 以下三菱商事)は、現地パートナーである PT Krama Yudha(インドネシア共和国ジャカルタ市, 会長 Eka Rasja Putra Said, 以下 KY)とともに、新生産合弁会社であるミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア(以下 MMKI)を設立し、ジャカルタ市の東 37 kmに位置する GIIC 工業団地に新工場を建設すると発表しました。

三菱自動車、三菱商事、KY の 3 社は、インドネシアにおいて 1970 年から生産・販売を続け、2014 年末には累計 130 万台(小型商用車及び乗用車)の販売を達成しております。またインドネシアは、世界第 4 位の人口を有し、経済成長と共に需要の増加が期待される市場であり、今後その成長を確実に取り込むためには、これまでの小型商用車中心から乗用車への展開拡大を進めていく必要があります。

今回、新たに建設する工場は、2017 年 4 月に操業を開始し、生産能力は年 16 万台です。従来の生産車種『COLT(コルト) L300』等に加え、新たに開発する小型 MPV(多目的車)と、新型 SUV(スポーツ多目的車)『パジェロスポーツ』の乗用車を生産する計画で、生産した車両の一部はアセアン各国にも輸出する予定であり、タイに続くアセアンの主要生産拠点として重要な役割を果たすこととなります。尚、新型車開発費を含めた総投資額は、約 600 億円となる予定です。

新工場の起工式については、本年 3 月 24 日建設予定地で行う予定です。

三菱自動車は、中期経営計画『ニューステージ 2016』において、「持続的な成長」と「企業価値の向上」を実現するため、アセアン地域を最重要市場として、タイでピックアップトラック『トライトン』をフルモデルチェンジ、フィリピンで新工場での生産を開始する等、新たなプロジェクトを立ち上げました。これに続き、インドネシアで新工場の建設、新型車の投入など事業再編・強化に取り組み、アセアン地域全体で、各国の市場ニーズを相互補完し、より一層の収益拡大を目指します。

三菱商事は、インドネシアにおいて、過去 40 年以上に亘り、自動車の生産、販売、販売金融事業など自動車関連事業を行なっており、自動車事業の最重要市場の一つと位置付けております。今後も、同市場で培ってきた経験を生かし、新工場の建設により、更なる事業基盤の強化を図ります。

【 MMKI の概要 】

設立(合弁化)	2015年3月(予定)
本社・工場所在地	インドネシア共和国 西ジャワ州 ブカシ県(首都ジャカルタ市から東に 37km)
資本金	約 200 億円
主な事業内容	三菱自動車製品の生産・卸売及び輸出
株主構成	三菱自動車工業株式会社 51%、三菱商事株式会社 40%、PT Krama Yudha 9%
生産能力	16 万台/年
敷地面積	30 ヘクタール
従業員数	約 3,000 名 (2018 年 3 月)
生産車種	小型 MPV、新型 SUV『パジェロスポーツ』、『COLT L300』

以 上

お問い合わせ先:

三菱自動車工業株式会社
広報部
Tel:03-6852-4274・4276

三菱商事株式会社
広報部
Tel:03-3210-8880